中 | 英語 試験対策⑤解説編

1 8	会の内容にあうように,	に適する語を書いて対	話を完成させた	なさい。
(1)	Where's the boy? —	- He's	the bed.	
(2)	Where's the box? —	- It's	the desk.	
(3)	Where's the guitar? –	—— It's	the box.	
(4)	Whore's the sat?	- T+'e	the dock	

- (1)少年はどこにいますか。─彼はベッドの上にいます。
- (2)箱はどこにありますか。 それは机のそばにあります。
- (3)ギターはどこにありますか。一箱の中にあります。
- (4)猫はどこにいますか。一それは机の下にいます。

2 7	の日本文にあう英文になるように,	に適する語を書きなさし	\ o	
(1)	そのコンサートは1月20日です。	The concert is	January 20.	
(2)	私たちは月曜日と火曜日は休みです。	We are off	Mondays and Tuesdays.	
(3)	私は毎日6時に起きます。	I get up	six every day.	
(4)	私は3月にアメリカへ行きました。	I went	America	March.
(5)	私は夕食後に本を読みます。	I read books	dinner.	
(6)	私たちは休憩の間に果物を食べます。	We eat some fruit	the break.	
(7)	あなたは朝食に何を食べますか。	What do you have	breakfast?	
(8)	私は自転車で学校へ来ます。	I come	school	bike.
(9)	私は書道部です。	I'm	the shodo club.	
(10)	ジムはオーストラリアの出身です。――	- リサはどうですか。		
	Jim is Australia.	— How	Lisa?	

- (1)「日にち」の前だから「on」! 「1月にあります。」だったら「in January.」となる。
- (2)「曜日」の前だから「on」! ←もう何度も出てきたので間違えるわけないよね?
- (3)「時間」の前だから「at」!「get up」は「起きる」「go to bed」が「寝る」「take a bath」は「風呂に入る」も覚えておこう。
- (4) go to 場所 / come to 場所「~へ」のように「動作の方向」を示すときにに「to」を使う。 bring もの to 場所 / take 物 to 場所 (物を場所へ持ってくる/持っていく)
- (5)「~の後に」は「after ~」「~の前に」は「before ~」
- (6)「~の間に」は「during」 時間の長さで言う場合は「for」を使う。
 I practice the piano for two hours every day.」(私は毎日2時間ピアノを練習します。)
- (7)「for breakfast」(朝食として)「for lunch」(昼食として)「for dinner」(夕食として) some の後は普通名詞は複数形だが、果物 (fruit)・食べ物(food)は普通数えられない名詞として 使います。(種類を言いたいときだけ複数形。)
- (8)交通手段は「by」を使う。by car / by bike / by bus / by train 「徒歩で」というときは「on foot」 I walk to school. = I go to school on foot.

- (9) in the ~ club / on the ~ team (club or team で使い分けよう。)
 (10)~出身は「from ~」 How about Lisa? この答えの文書は「She's from ~.」となる。
 ←リサが答えているわけではない。「リサはどうですか。」の質問リサ本人に聞いているわけではないのがミソ。リサの出身を知っている誰かに尋ねているところです。リサ本人に直接聞くならば、
 - 3 次の日本文にあう英文になるように、()内の語(句)を並べかえなさい。
 (1) 赤いシャツを着ている女の子はメグです。(is / Meg / in / the girl / red / shirt / the).
 (2) 私はイヌといっしょに公園のまわりをジョギングします。(around / dog / jog / I / my / park / the / with).
 (3) 私たちは試合の前は体育館で練習します。(a game / the gym / in / before / practice / we).
 (4) 私の友達は歌が得意です。(at / singing / is / friend / my / good).
 (5) 日本では夏は6月から8月です。(in / to / is / summer / Japan / June / August / from).
- (1)これを間違えている人は教科書の暗記が全く役に立っていません。もっと暗記を頑張りましょう。
 The boy in the black yukata is Kaito.を覚えていれば書けるはずです。
- (2)これも I jog with my dog around the pond.を少しアレンジしただけ。

「How about you, Lisa?」となる。

- (3)But before a concert, we practice in the gym.という文章は覚えていますか?
- (4) 「be good at ~ing」動詞の ing 形を使い、「~することが得意です」
- (5)教科書では In Australia, summer is from December to February.となっているので、

「In Japan」を前に書いた人が多かったと思うけど、そのときは Japan のあとにカンマ「,」が必要です。場所を表す「in ~」は通常文末に置かれます。教科書の文も「Summer is from December to February in Australia.」が普通なのですが、「オーストラリアではね、」というのを強調するために前に持ってきている。通常の位置ではなく、前に持ってきて使うときには「,」を使うと覚えておこう。

I make a cake sometimes. (私はときどきケーキを作ります。)

Sometimes, I make a cake. (ときどきなんだけど、私はケーキをつくるんだ。)

(1)		日本文の意味を英文で表しなさい。 の家は図書館の近くにあります。
(2) シ	ンとぼくはサッカー部です。
(3) ベ	ンチのそばにいるあの男の子を見て。
(4) 私:	たちはお祭りの最後にたくさんの花火を見ました。

(I)「~の近くに」は「near ~」「~のそばに」は「by ~」 (2)主語が「シンと私」の2人だから be 動詞は「are」となることに注意。on the soccer team も注意。 (3)「~を見る」は「look at」ここでの「見る」は「視点を向ける」こと視点をどこへ向けるか「狭い場所」 を指すときには「at」を使います。Let's meet at the gate.(門のところで待ち合わせしましょう。) (4)At the end of the festival, we saw lots of fireworks.でもOK. 「lots of」のところが「many」でもOK! 5 次の日本文にあう英文になるように, に適する語を書きなさい。 (1) 私たちは海で泳いで楽しみました。 We in the sea. (2) 何か食べましょう。— いい考えですね。 Let's eat . — That's a good . (3) 私はニュージーランドですばらしい時を過ごしました。 I a great in New Zealand. (4) 私は木のぼりが得意です。 I'm good trees. (5) 恥ずかしがらないで。あなたの英語はじょうずですよ。 shy. Your English is good. (I)(2)(3) (4) (5)

6	英文がなりたつように、	に適する語を右の 内から1つずつ選んで書きなさい。		
(1)	In Japan, winter is	December to February.		
(2)	At the end the	e concert, we enjoyed singing together.	to	of
	MANUAL WAY I	ed noodles.	from	at
(4)	look those me	en on the stage		

- (1)日本では、冬は12月から2月です。
- (2)コンサートの最後に私たちは一緒に歌って楽しみました。
- (3)私は焼きそばが食べたいです。
- (4)ステージの上のあちらの男性たちを見てください。

7 ;	次の発話に対して最も適する応答を,右のア〜エカ	から1	つずつ選んで記号で答えなさい。
(1)	I'm not good at dancing.	ア	No, thank you.
(2)	Where's the restaurant?		Over there.
(3)	I like your hair.		Come on! You can do it!
(4)	Let's play netball.	ĺ	Thanks.
/ L \ [イルトロマフ つ \	·	74. 3 m² + 7. m² + 1.
` '	私は踊ることが得意ではありません。」 ウ「おいて		
` '	レストランはどこですか。」 イ「あちら		
` '	あなたの髪型気に入ったわ。」 エ「ありが		
(4) ^r	ネットボールしようよ。」 ア「いいえ	、けっ	こうです。」
Ы	をかかいなの口士立にちる英文におるように	r	- 海オス冠を書きかさい
8	知識次の日本文にあう英文になるように、		こ週9句品で書きなけい。
(1)	私たちは山でキャンプを楽しみました。		
	We in the mountains.	2->>-)). h
(2)	The state of the s		
	I okonomiyaki there. It delicious.		
(3)	私は英語を話すのが得意ではありません。		
	I'm good speaking Engli	sh.	
(4)) 私の家は駅の近くにあります。		
	My house the station.		
(5)	私はよく、この公園のまわりをイヌといっし	ょに	走ります。
	I often run my dog this	par	k.
(1)			
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			
9			
	複数形(2つ以上)にできるものはその複数形を	か書きな	さい。複数形がないものは×を

(1) milk (2) child (3) potato (4) sheep (5) baby

書きなさい。

単数形 - 複数形

(1) milk - × water - × / juice - × ←「たくさんの」は「much」を使う。

(2) child - children man - men / woman - women / tooth - teeth / foot - feet(足)

(3) potato - potatoes tomato - tomatoes / hero- heroes (英雄・ヒーロー)
※piano - pianos / photo - photos (略された単語)
piano → pianoforte の短縮形 photo → photograph の短縮形(写真)

(4) sheep - sheep deer - deer / fish - fish / carp - carp(鯉(コイ))

(5) baby - babies city - cities / activity - activities (yの前が母音)

※boy – boys / day – days (yの前が子音)

- | 2 空機に必要に応じてαまたは an を入れなさい。何も入れなくてよいときは×を書きなさい。

 (1) This is () America.

 (2) Is that () elephant?

 (3) This is () English book.

 (4) I have () racket.

 (5) He is () Tom.
- (1)「これはアメリカです。」固有名詞の前には「a/an」は付けない。
- (2)「あれはゾウですか。」一般名詞だから「a/an」をつける。Elephant は母音で始まるので「an」
- (3)「これは英語の本です。」名詞の「本」があるから「a/an」が必要。

「English」が「科目」として使われる場合は「a/an」は付かない。(数学などの他の教科名にも) We have English and math today. 私たちには今日英語と数学があります。

- (4)「私はラケットを持っています。」「racket」が単数形かだから「a/an」が必要。 もし、「rackets」となっていたら、「a/an」を入れてはいけない。
- (5)「彼はトムです。」 名前の前には「a/an」をつけてはいけない。

- 11 定しいものを記号で選びなさい。
 - (I) Meg: (ア What イ How ウ When エ Where) do you play the guitar?

Ken: I play it before dinner.

(2) Ken: Is this your computer?

Meg: No. I (ア am not イ have not ウ do not have エ have not do) a computer.

- (3) Ken: (ア Can イ Is ウ Are エ Do) this hall near the park?
 Jun: Yes, it is.
- (4) Meg: (ア How イ Where ウ When エ What) is the weather in Tokyo?

Ken: It's rainy.

- (5) Meg: When is the next soccer game?

 Ken:It's (ア in イ at ウ for エ on) August 10th.
- (6) Meg: What's the date today?

Ken: (ア It's Tuesday.

イ It's September 8th.

ウ It's a nice day today. エ It's summer.)

(I)Meg:あなたはいつギターを演奏しますか。

Ken:私は夕食前にそれを演奏します。

- (2) Ken:これはあなたのコンピューターですか。 Meg:いいえ。私はコンピューターを持っていません。
- (3) Ken:このホールはその公園の近くにありますか。 Meq:はい、あります。
- (4) Meg:東京の天気はどうですか。Ken:雨です。
- (5) Meg:次のサッカーの試合はいつですか。 Ken:それは8月10日にあります。
- (6) Meg:今日の日付は何ですか。Ken:11月8日にです。

- 12 下の単語を正しい英文になるように記号で順番に並び替えなさい。ただし、文の先頭に来るものも全て小文字で書いてあります。
 - (1) (ア you イ Tom ウ do エ with オ play)? 「あなたはトムと遊びますか?」
 - (2)(ア is イ what ウ today エ day オ it)? 「今日は何曜日ですか。」
 - (3)(ア student イ America ウ is エ from オ that)? 「あの生徒はアメリカ出身ですか?」
 - (4) (ア a イ isn't ウ new エ he オ student). 「彼は新入生ではありません。」
 - (5) I (ア seven イ up ウ at エ get オ usually)。
 「私はたいてい7時に起きます。」
 - (6) (ア can イ what ウ we エ food オ have) there? 「私たちはそこで何の食べ物を食べることができますか?」

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

- 13 下の文を、指示通りに書き換えなさい。※ | 文字目は大文字で書き始め、文の最後はピリオド(、)またはクエスチョンマーク(?)で終わること。(各2点)
 - (I) I want a glass of water。(「水を2杯」に変えて)
 - (2) I am a singer. (「…になりたい」という文に)
 - (3) Do you have two dogs? (「何匹飼っているか」とたずねる疑問文に) (下線部が答えとなる疑問文に)
 - (4) You are a good player. (「…になってください」という文に)
- (1)私は水をグラスに2杯欲しいです。
- (2)私は歌手になりたいです。
- (3)あなたは何匹の犬を飼っていますか。
- (4)良い選手になってください。

14 次のメグと朝美の対話を読んで、問題に答えなさい。

Meg: What do you bring to practice?

Asami: I bring rackets, shoes, towels, and a water bottle.

Meg: Rackets? How many rackets do you have?

Asami: I have ①two.

Meg: Wow.

Meg: When do you practice badminton?

Asami: We practice five days a week.

We're off on Tuesdays and Sundays.

Meg: I see. (A)

Asami: They're our coaches. They come on Fridays.

Meg: That's nice.

あなたは練習に何を持って来るのです か。

私はラケット、くつ、タオル、そして水筒 を持ってきます。

ラケッツ?あなたは何本のラケットを持っているのですか。

2本です。

まぁ。

あなたがたはいつバドミントンの練習 をしますか。

私たちは週5日練習しています。

私たちは火曜日と日曜日が休みです。

なるほど。

あちらの男性たちは誰ですか。

彼らは私たちのコーチです。

彼らは毎週金曜日に来ています。

素敵ですね。

- (1) 下線部①two の後ろに隠れている名詞を l語書きなさい。
- (2) Asamai (朝美) の発言として合っているものにはOを、間違っているものには× を解答欄に書きなさい。
 - 1. I bring towels to practice.
 - 2. I practice badminton on Thursdays.
- Ⅰ.私はタオルを練習に持って来ます。○
- 2. 私は毎週木曜日にバドミントンをしています。○
- 3.私たちのコーチは毎週金曜日と日曜日に来ています。×
- 3. Our coaches come on Fridays and Sundays.
- (3) (A)に当てはまる英文として、だしいものを I つ選び、解答欄に記号で答えなさい。
 - 1. Where are they?
- 2. Who are those men?
- 3. What is this?
- 4. Who is this man?
- 1.彼らはどこにいますか。
- 2. あちらの男性たちは誰ですか。○
- 3.これは何ですか。
- 4.こちらの男性は誰ですか。

15 次のアレックス(Alex)とトム(Tom)、ジャック(Jack)の 3人の対話を読んで、問題に答えなさい。

Alex: I like volleyball. I play it, too. What sport do you like, Hiroto?

Tom: I like volleyball too. But I don't play it.

Alex: How about you, Jack?

Jack: I like judo. I like music. too. I'm a *rock fan.

Tom: Really? Me too. I practice the guitar at school on Sunday.

Jack: Oh, you can play the guitar. I sing a *band.

Alex: I play the piano. *Let's (A) *together!

What time do you practice on Sunday, Tom?

Tom: At three. Come to school at two next Sunday.

Alex: I see. (B)

Tom: In music room.

rock・・・ロック(音楽の一種) Let's・・・~しよう

band…バンド together・・・いっしょに

(1) トムになりきり次の問いに3語の英語で答えなさい。

Do you play volleyball?

あなたはバレーボールをしますか。 -いいえ、しません。

(2) 本文の内容と合っているものにはOを、間違っているも

- I. Alex and Jack like baseball.
- 2. Tom is a rock fan.
- 3. Alex and Tom practice the guitar at three on Saturday.
- (3) (A) (B)に入る正しい英文を選び、記号で答えなさい。
- (A) ア、practice judo イ、play music ウ、watch a baseball game
- (B) P. Where do we practice? 1. How do we go there?

ウ、What music do you like? エ、Do you sing a song?

私はバレーボールが好きです。

私はそれをプレーもします。ヒロト、あなたはどんなスポーツが好きですか。

私もバレーボールが好きです。でも、私は それをプレーしません。

ジャック、あなたはどうですか。

私は柔道が好きです。私は音楽も好きです。私はロックファンです。

本当ですか。私もです。私は日曜日に学校 でギターを練習します。

おお、あなたはギターを演奏できるのですか。一緒に音が奥を演奏しよう!

トム、あなたは日曜日の何時に練習をしているのですか。

3時です。今度の日曜日2時に学校に来て ください。

分かりました。

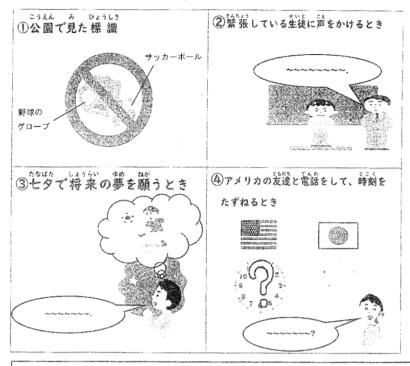
どこで練習するのですか。

音楽室です。

(1) (2)
(3)
(4)
(5)
次の Dunne (ダン) 先生の質問について、あなた自身のことを英語で書きなさい。 ただし、あとの〈条件〉にしたがうこと。
(1) Dunne : What animal do you like?
You:
(2) Dunne: How many apples do you want to eat?
You:
<条件>
* 文は大文字で書き始め、文末は「.」「!」のいずれかの符号で終わること。
* 短縮形(I' m や don' t)は l 語と数え、符号(, や. など)は語数に含めません。
* 数字は英語で書くこと。
17 オーストラリア出身のマイケル君が追浜中学校に転入してきました。自分の名前
を除いた自分についての自己紹介文を4文書きなさい。主語(書き出し)はすべて「I(私)」
っか すうじ えいご か を估い 数字 け 芸
とは、数子は大品(音)こと。 Hello, I am 自分の名前.
①~~~~~~.

Nice to meet you.

18 ①~④のイラストや場面に合うように各問題ごとの条件に従い、英文を書きなさい。 ②~④は波線のセリフとして正しい英文を書くこと。



【各問題ごとの条件】

- ① 3語以上で書くこと。
- ② beを使うこと。
- ③ want を使うこと。
- ④ 5語以上で書くこと。

- * | 文は大文字で書き始め、文末は「.」「?」のいずれかの符号で終わること。
- * 短縮形(I' m や don' t)は ! 語と数え、符号(, や. など)は語数に含めません。